

～おしらせ～

保育講習会 11/9 スタート

お申込みは 10月29日までにファミサポたかはたまで!!

599-7616

必須科目	講師	日時	ポイント	場所
1 相互援助活動について	ファミサポアドバイザー	11/9 (火)	9:00~10:00	多摩平の森ふれあい館 集会室 6
2 日野市の子育て支援	子ども家庭支援センター長		10:00~11:00	
3 参加者交流会	ファミサポアドバイザー		11:00~12:00	
4 保育の心	保育園 園長	11/12 (金)	9:00~10:30	
5 子どもの世話	保育園 看護師		10:30~12:00	
6 発達に課題のある子どもの支援	臨床発達心理士・言語聴覚士 松田景子氏	11/16 (火)	9:30~11:30	
7 安全・事故 「普通救命講習・AED実習」	日野消防署	11/18 (木)	9:00~12:00	
8 子どもの発達と病気	須賀小児科 院長 須賀康正氏	11/25 (木)	9:30~11:30	
9 地域で支える子育て	子ども家庭支援センター	11/29 (月)	9:00~10:00	
10 私の提供会員活動	ファミサポ提供会員		10:00~12:00	
11 ワークショップ・まとめ	ファミサポアドバイザー			
12 会員交流会 ～クリスマスリースづくりと紅茶講座と交流会～		12/2 (木)	本紙表紙参照 費用500円	

プログラム7はテキスト代他として1400円ご負担いただきます

6月参加者のノートより

・私でもまだまだできることはたくさんあります。是非人の役に立ちたいと思い受講しました
 ・自分の経験を活かし、自分のできる範囲で活動していきたいです。
 ・講義を受けたことで、最初の気持ちと大きく変わりと皆さんの活動をしていきたいと思いました。
 ・思っていた以上に子育てに対して日野市は力を入れていることを理解した。
 ・講習会6日間はとても充実した日々が過ごせました。

新地区リーダー紹介

一中・大坂上中地区



生沼久美子 佐藤百合子

皆さんのお力に少しでもなれたらと思います。気軽にお声をかけて下さい。

二中・四中地区



平野みどり 松本晃子

地域のみなさんと仲良く活動できるように、交流会を楽しく出来るように楽しみにしています。

平山中・七生中地区



石田あや子 山口伸子

地域で支えあいましょう。交流会、楽しみにしています。

三中・三沢中地区



川原山節子 小林明子

お互いに親交を深めましょう。会員の輪を広げてください。

新アドバイザー紹介

川崎早苗、栗澤美弥子、長橋美保の3名が加わりました。よろしくお願いします。なお、岩出、蔵本、栗原は退職いたしました。

センターからのお願い

提供会員さんへ

活動報告書は必ずご提出ください(翌月5日まで)。ただいま、たかはたへ直接ご持参いただくか、郵送でお願いします。キャンセルや活動日の変更の連絡はセンターまでお願いします。

依頼会員さんへ

活動がなかった月は報告書がないので「活動なし」とご連絡ください。キャンセルした場合は提供会員さんとセンターへもご連絡ください。活動が終了した時はセンターへご連絡ください。

ファミサポたまだいら

042-589-7616

ファミサポたかはた

042-599-7616

日野市

ファミリーサポート 通信

第18号

2010年9月発行

発行 日野市ファミリー・サポート・センター
 受託/特定非営利活動法人
 市民サポートセンター日野
 〒191-0062
 日野市多摩平 2-9 多摩平の森 ふれあい館 2F
 TEL・FAX 042-589-7616
 URL: <http://www.angel-hino.com/>

第5回 会員交流会

今年はクリスマスリースづくりと、「コミュニティカフェ・グリーン」によるコーヒー・紅茶講座です。美味しいケーキといっしょに楽しいティータイムを過ごしませんか。今後のファミサポ活動に活かしていくために、皆さんと交流の輪を広げていきましょう。



部 クリスマスリースづくり

地区リーダーと一緒にフレッシュリーフを使ったオリジナルリースをつくります

部 コーヒー・紅茶講座

コミュニティカフェ *Cafe Green* のスタッフが美味しい淹れ方のデモンストレーションをします



当NPO法人が運営する「カフェグリーン」は多摩平の森の美しい自然を望みながらホッと一息できる地域の皆さまのカフェです。使用しているコーヒー・紅茶はフェアトレード(公正な貿易)とオーガニック(有機無農薬)による環境にも人にも優しいものです。



部 ティータイム&交流会

美味しいパウンドケーキといっしょにコーヒー・紅茶を楽しみながらおおいに歓談して交流を深めましょう

日時 平成22年12月2日(木) 13:00~16:00

会場 多摩平の森ふれあい館 3階 集会室 6

定員 50名

参加費 500円 (クリスマスリース材料、ケーキ、お茶代含む)

持ち物 ティータイム用マイカップ、はさみ、リース持ち帰り袋

申込 599-7616 ファミリー・サポート・センターたかはた

切 10月29日 材料等の準備があるため、お早めに...

まってま～す!!



ファミサポ活動 Q & A

依頼会員より

提供会員より



Q. 私が病気になって通院する時に家で子どもを見てほしい。そんなもしもの時にと保育を依頼して事前打合せまで済ませましたが、その後一度も依頼していません。これで実際何かあった時に活動していただけるか心配です。どうしたらいいでしょうか？

A. 確かにもしもの時の依頼はいつ起こるかわかりませんね。そこで慣らし保育と言って月1回程度、依頼した活動内容で提供会員にお願いすることをお勧めします。そうすることによって子どもも提供会員もお互いに顔を忘れることもなく、もしものときに安心して活動していただけると思います。

Q. 初対面の人に子どもを預けることが少し不安です。

A. センターでは「保育講習会」を開催し、修了した提供会員だけに保育の援助活動に入ってもらいます。事前打ち合わせで質問や要望をだし、お互いに不安を取り除くようにしています。

Q. 私の外出が昼をはさむ時間になりそう。3歳の子どもを見てもらいたいけど昼食はどうしたらいいのでしょうか？

A. 提供会員は子どもを保育しながら食事を作ることはできません。昼食は前もって依頼会員が用意してください。電子レンジで温めることぐらいはできるので、冷凍食品でもOKです。



Q. 依頼していた提供会員が活動できなくなったとき、知り合いの提供会員に直接頼めるの？

A. 会員同士で決めずに、必ずセンターに連絡してください。知り合いの提供会員に依頼できますが、新たな事前打ち合わせを行う必要があります。

Q. 保育園の子どものお迎えを歩いて30分と思い依頼しました。が、たいてい30分を越してしまいます。日によってはじっとしゃがみ込んで虫を見たり、疲れて抱っこをせがんだりしているようです。

A. 子どもは毎日同じように歩くとは限りません。実際にかかった時間が活動時間となるので、その分の謝礼金を支払ってください。保育園の子どもの場合、抱っこ、おんぶ、バギー、歩く(ファミサポ活動では自動車も自転車も使用できません)という方法があります。特に普段の送迎が自動車や自転車の場合、どの方法が子どもにとって一番よいのか迷うと思います。依頼の前にバギーを使ったり、子どもと一緒に歩いたりすることをお勧めします。雨や台風の日があることも考慮してください。



Q. 子育てのお手伝いをしたくてせっかくファミサポに登録したのに、実際の依頼がないわ。

A. すみません、センターとしては耳の痛いお話です。なるべくたくさんの方に声かけするよう努力しています。依頼会員のなかには、すぐに援助してもらいたい会員ばかりではなく、ファミサポを通して地域に子育てを頼れる人がいて安心！と言う方も多くいらっしゃいます。提供会員の存在が子育て中のお守りとなっているのですね。

Q. 家事援助をしてるけど、だんだん依頼会員からの頼まれごとが増えてきました。面と向かって断りにくいけれど・・・

A. センターに相談してください。あくまで、事前打合せに記入されていない活動はできません。市民の「相互援助活動」を円滑に進めるためには、悩みを一人で抱えず一報を。両会員が気持ちよく活動できるように解決の道を探します。

Q. 提供会員として善意で活動しているのですが、子どもからはお金をもらっているのでしょうか？という目で見られて悲しい。お母さんからはお金を支払っているから当然、という認識のズレがあります。どうしたらいいでしょうか？

A. ファミリーサポートセンターの活動は会員の相互援助の精神に立って会員の自発的判断で援助活動を行うものです。

センターで確認したいことは、提供会員はお金を得るための仕事ではない、依頼会員はお金を得るための仕事ではない、ということ。謝礼金は援助に対するお礼の気持ちという性格のものです。両会員が同等の立場で互いに協力しながら、子どもにとって最も望ましい育児を、家族にとって望ましい家事をするという共同作業です。

子どもの目の前で謝礼金の授受は避け、封筒に入れるなどちょっとした配慮を依頼会員にお願いするのも一案です。それでもズレを感じる時はセンターへ一報を！



ボランティアとは
人や社会に役立つことをするために
自分の技術や労力そして時間を進んで
提供することにあります

活動紹介

～素早い提供会員のバトンタッチで依頼会員も安心...～



増田さん親子と田倉さん

依頼会員の増田さんからセンターに依頼があったのは6月中旬。2番目の子の出産を控えて、3歳のお兄ちゃんの保育園のお迎えをしてほしいというものでした。7月上旬に提供会員のSさんが見つかりました。

増田さんの当初の希望は月曜日から金曜日の週5日でしたが、Sさんは1日都合がつかず、週4日の活動となりました。

週5日毎日の活動となると、提供会員2、3人でサポートすることが多いのですが、増田さんは子どもの気持ちを考えて提供会員は一人の方がいいと思い、Sさんができない週一日はパパのお迎えにしました。

順調にスタートした活動ですが、7月末にSさんの家族が急病になり、活動を続けられなくなりました。

連絡を受けてセンターでは新たな提供会員田倉さんを探しました。

早急にスケジュール調整をしていただき、すぐに事前打合せ、確認活動をし、翌日から活動が始まるというありがたいスタートをきりました。

増田さんは「ほんとに助かりました。キャンセルが続いたらパパが頼りだけど、その為には仕事を4時には切り上げなければならなくて毎日はとても無理。そうなると保育園を休ませて、お兄ちゃんは家でずっと過ごすことになり、元気がありあまって私も大変になったでしょう」と笑顔で。

提供会員のSさんは今回保育の援助は初めてで、楽しみにして引き受ける前に、自分で実際に保育園まで歩いて確認するなど熱心に取り組みました。「とても活発なお子さんなので車道に飛び出さないようになど、安全にはとても気を遣いました。でも歩きながらおしゃべりしてくれて楽しかった！」ということです。

田倉さんも今年6月の保育講習をうけたばかりでしたが、細かい情報をSさんから得て、スムーズに活動のバトンタッチができました。

お兄ちゃんが田倉さんと楽しそうに帰ってきて「ただいま～」と家に入るなり、ママに抱かれた赤ちゃんに挨拶。寝ていた赤ちゃんもごきげんに目を覚まして、みんなでカメラに収まってくれました。

